

2009年(平成21年)4月12日(日曜日)

佐賀新聞

開会講演 牧慎太郎 兵庫県企画
県民部長



熱い思い 束ねるツール

地域SNSとのかかわりは、総務省時代、インターネットを活用し地方行政への参加を促すシステムとして「電子会議室」の導入に

携わったのが原点だ。実名書き込みだと閑古鳥が鳴き、匿名にするなど不當要求などで荒れて失敗に終わった。

地域SNSは現実世界と運動しており、互いの顔が見える安心感と秩序が強みだ。参加者も地域を良くしようという熱い思いに満ちている。

それから間もなく、熊本県八代市が全国で初めて地域SNSを導入し、市役所のホームページのアクセス数も飛躍的に伸びて関心が高まった。行政と住民は本来対立するものではない。市民同士が対話してつながるJUJUで、地域社会

に参加するツールとしてのSNSには、こうした思いや知恵、能力をエンパワーし、人を束ねる共通の志をつくることで、まちの活性化につなげる役割が期待されている。地域コミュニティ

一が弱体化する中、積極的に活用する方策を探っていきたい。